令和４年度　　令和５年度

決　算・予　算

〔速報版〕

令和5年6月

箕面都市開発株式会社

令和４年度決算の概要

1 令和４年度予算と決算を比較すると

- 営業利益、経常利益、当期純利益とも、**予算を上回り、経営は順調**です。

2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を大きく上回り**ました。
- 純資産額については、平成24年度に債務超過を解消し、繰延税金資産(※1)を除いても、**大幅に増加**しています。
- いずれの利益（営業利益・経常利益、当期純利益）においても、**調停条項を大幅に上回り**ました。

（※1）：繰延税金資産とは･･･将来の会計期間に帰属すべき税金費用（損金）を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産のことをいいます。

3 今後の展望

- 調停条項を上回る順調な経営となっていますが、みのおサンプラザ１号館の建替えが決定し、収入源の要の一つであるビル関連の事業が終了し売上が半減します。既存事業の見直しや組織の再編に加え、新たな収入確保に向けて検討を進めます。

令和４年度

決　算

1．令和４年度決算

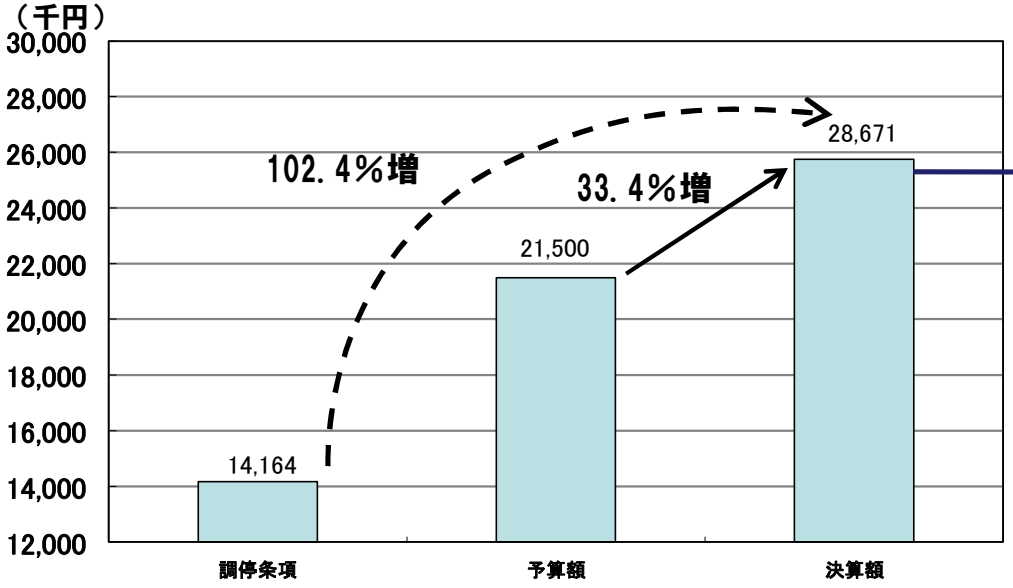
（単位：千円・％）

	令和4年度実績			令和4年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,074	126,000	129,696	3,696	2.9	23,622	22.3
営業利益	14,164	21,500	28,671	7,171	33.4	14,507	102.4
経常利益	12,585	18,985	25,750	6,765	35.6	13,165	104.6
当期純利益(※)	6,167	49,423	56,926	7,503	15.2	50,759	823.1
期末資金残高	83,555	136,454	149,294	12,840	9.4	65,739	78.7
純資産額	59,098	196,243	203,746	7,503	3.8	144,648	244.8

(※)法人税等調整額を除いています。
法人税等調整額とは･･･税務上の益金、損金で算定される課税所得と企業会計上の収益、費用で算定される利益との差額を調整する会計処理のことをいいます。

決算においては、すべての項目において、調停条項を大幅に上回りました。

2．営業利益（本業利益）の比較



調停条項、予算額ともに上回りました。

要 因

民間受託事業や空床の新規賃貸の増収をはじめ、前年に引き続き、箕面商工会議所主催の市内販売促進事業の販売手数料収入が増収となりました。また、従業員の欠員補充を行わなかったことで、費用が抑えられたため。

３.貸借対照表

（単位：千円・％）

	令和3年度		令和4年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	572,004	100.0	550,110	100.0	▲21,894
流動資産	140,911	24.6	157,393	28.6	16,482
固定資産	431,093	75.4	392,717	71.4	▲38,376
有形固定資産	415,473	96.3	378,158	96.3	▲37,315
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	15,324	3.6	14,263	3.6	▲1,061
負債合計	418,716	73.2	340,956	62.0	▲77,760
流動負債	23,537	5.6	26,003	7.6	2,466
固定負債	395,179	94.4	314,953	92.4	▲80,226
純資産	153,288	26.8	209,154	38.0	55,866
純資産(繰延税金資産除く)	146,820	—	203,746	—	56,926

参考１：経営内容を判断するポイント

■貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

①期末にどれだけの資金残高があるのか
②純資産額が増加しているのか

⇢ **資金計画で判断することが適切**

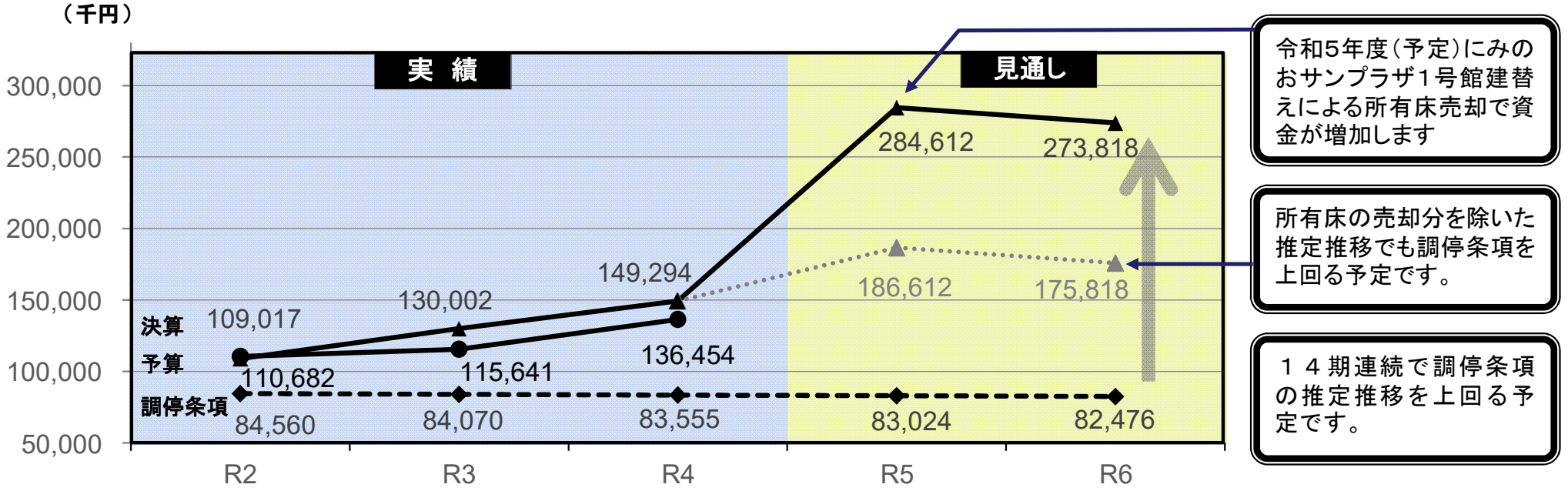
参考２：資金計画の見込み

（１）期末資金残高の推移

（単位：千円）

	各年度の予算・決算実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調停条項	84,560	84,070	83,555
予算	110,682	115,641	136,454
決算	109,017	130,002	149,294

	令和5年度	令和6年度
調停条項	83,024	82,476
今後の見通し 令和4年度決算による	284,612	273,818



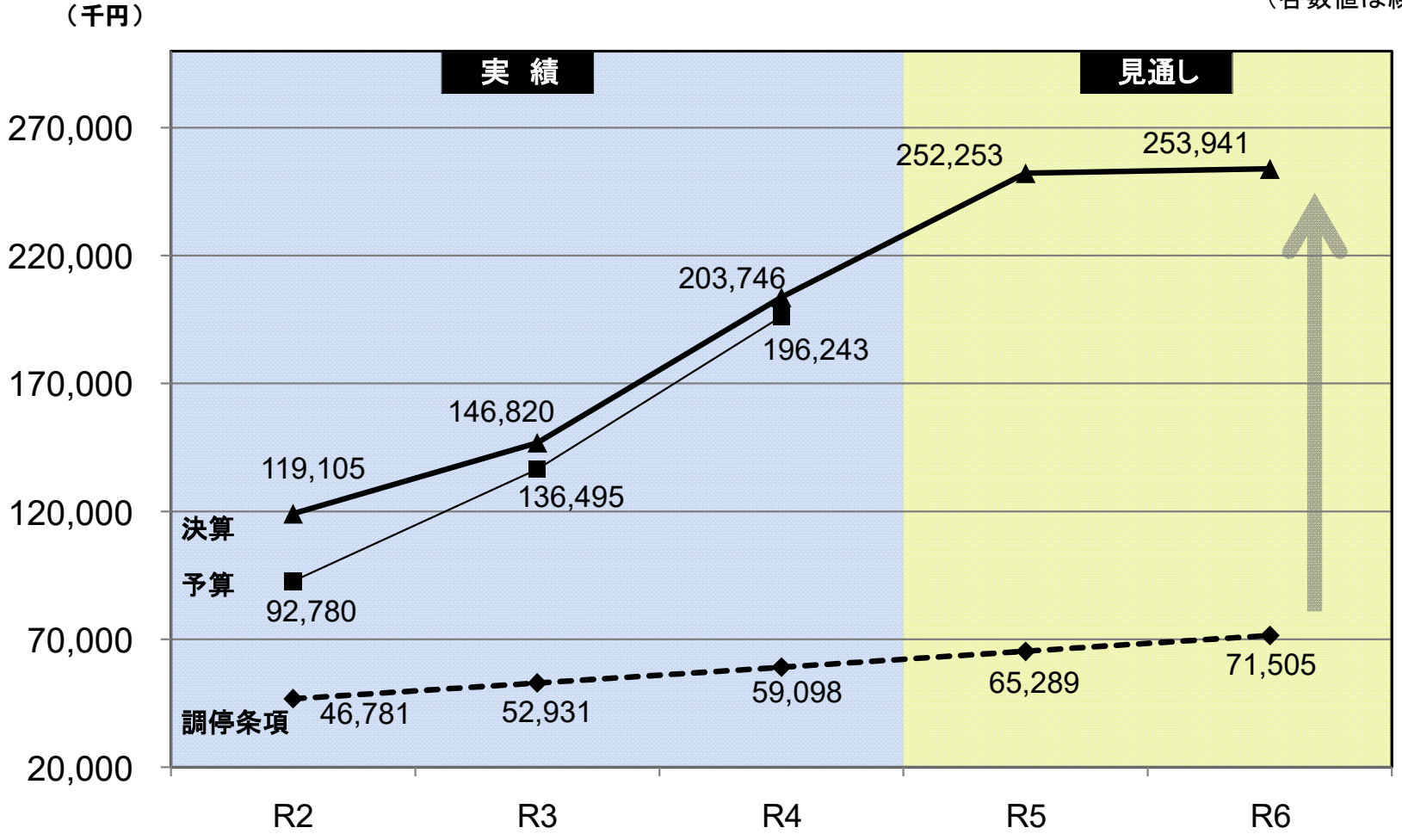
（２）純資産額の推移

（単位：千円）

	各年度の予算・決算実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調停条項	46,781	52,931	59,098
予算	92,780	136,495	196,243
決算	119,105	146,820	203,746

	令和5年度	令和6年度
調停条項	65,289	71,505
今後の見通し 令和4年度決算による	252,253	253,941

（各数値は繰延税金資産を除いています）



調停条項の想定推移を
大幅に上回る予定です。

令和5年度

予　算

１．令和５年度予算と調停条項

（単位：千円・％）

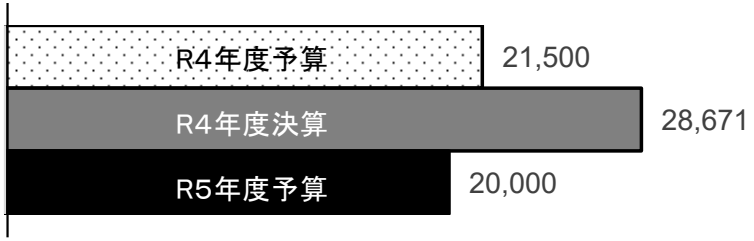
	調停条項（令和6年3月期）		令和4年度予算		令和5年度予算		令和5年度予算の比較	
	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	調停条項との増減率	令和4年度予算との増減率
売上高	106,074	―	126,000	―	128,000	―	20.7	1.6
受託料収入	64,990	―	79,504	―	80,902	―	24.5	1.8
所有床賃貸収入	9,000	―	7,469	―	8,629	―	▲4.1	15.5
土地賃貸収入	21,600	―	25,008	―	25,008	―	15.8	0
受取手数料収入	1,900	―	2,519	―	2,461	―	29.5	▲2.3
文化・交流Ｃ売上	8,584	―	11,500	―	11,000	―	28.1	▲4.3
営業利益	14,164	13.4	21,500	17.1	20,000	15.6	41.2	▲7.0
経常利益	12,625	11.9	18,985	15.1	17,927	14.0	42.0	▲5.6
当期純利益	―――	―	―――	―	―――	―	―――	―――
当期純利益（法人税等調整額除く）	6,192	5.8	49,423	39.2	48,507	37.9	683.4	▲1.9

2．売上高・利益の推移

・令和４年度決算においては全ての利益とも令和４年度予算を上回りました。
・令和５年度予算において、令和４年度決算と比較すると、売上高は増加するものの、販売管理費の増加により営業利益がやや減少する予定です。
・経営内容の判断指標である期末資金残高や純資産額は、順調に増加する予定です。（6・7頁参照）

■売上高

■営業利益



■経常利益

■当期純利益

R4予算とR5予算の比較・主な要因

前年比1.6%増

- 民間受託事業や所有床賃貸の増収による

前年比7.0%減

- 販売管理費の増加による

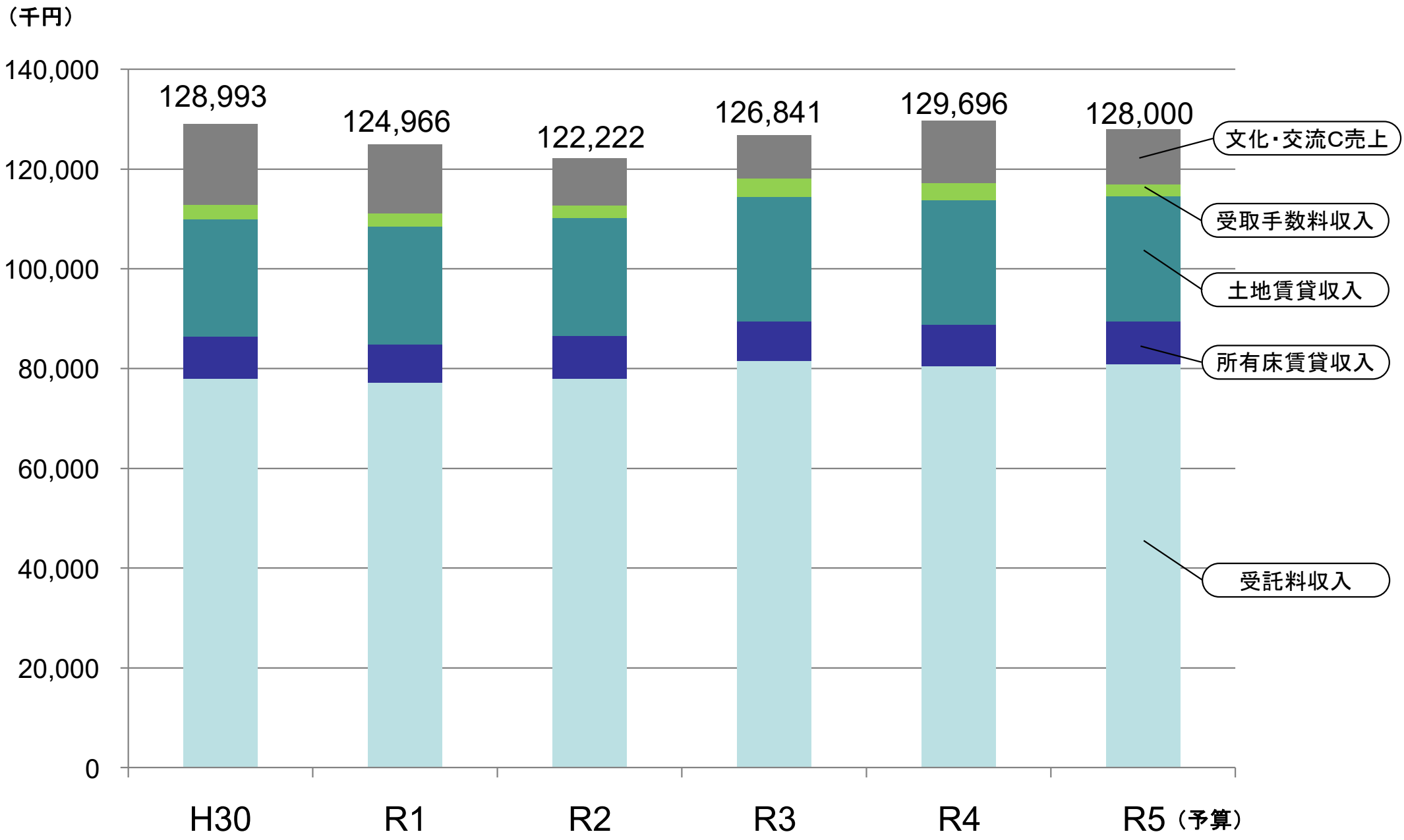
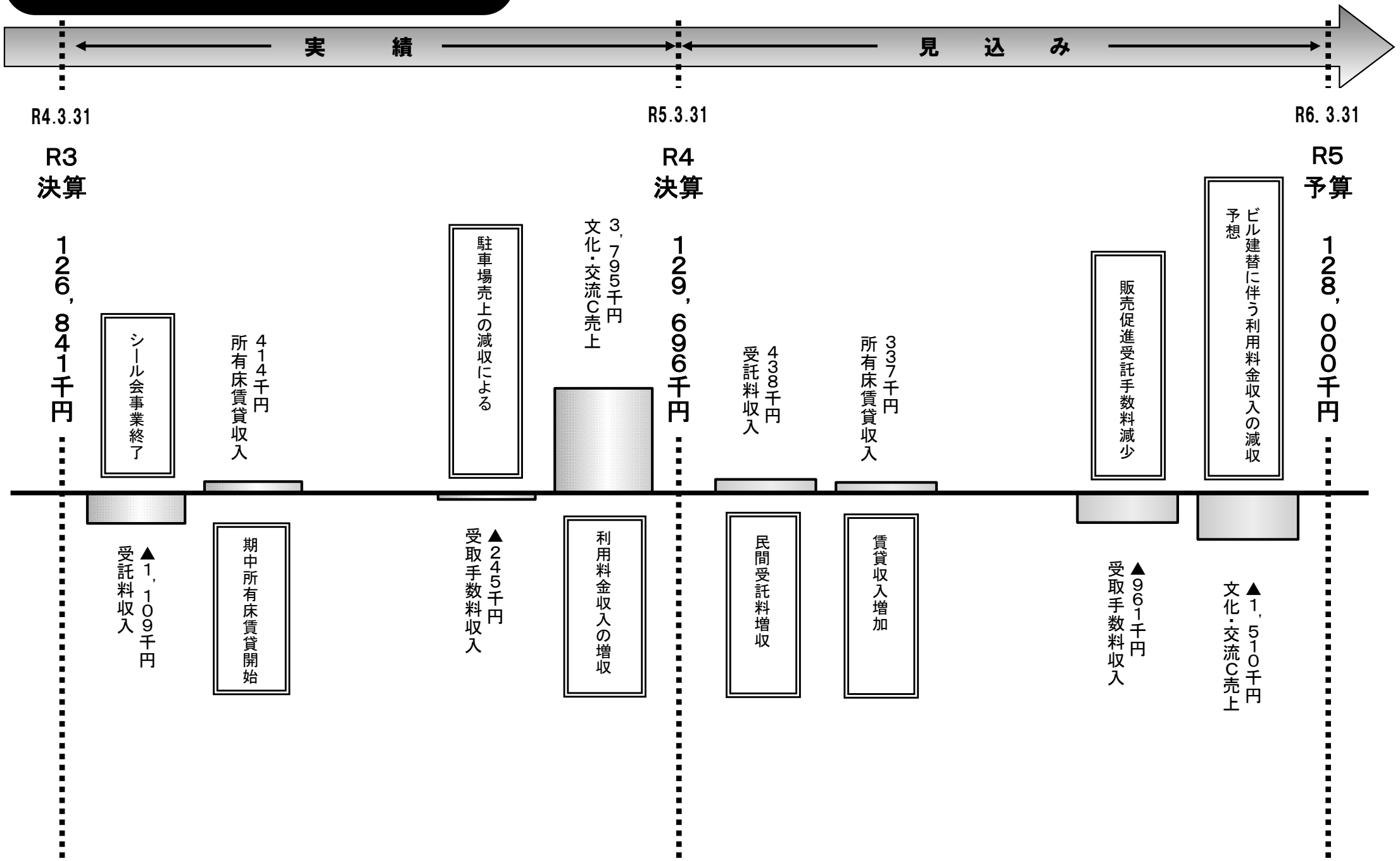
前年比5.6%減

- 営業利益の減益による

前年比1.9%減

- 経常利益の減少による

参考１：事業別売上高の推移



参考２：売上高増減の主な要因